



# 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日  
東

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所  
コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月6日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	60,432	11.4	2,526	16.2	3,131	23.5	1,962	7.3
25年3月期第2四半期	54,242	9.0	2,173	△0.1	2,535	31.1	1,828	79.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,086百万円 ( 16.8%) 25年3月期第2四半期 1,787百万円 ( 27.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	20.18	—
25年3月期第2四半期	18.70	—

※平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	124,757	68,334	54.8
25年3月期	115,079	66,612	57.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 68,334百万円 25年3月期 66,612百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
26年3月期	—	12.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.25	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、平成26年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	10.3	9,500	34.2	10,000	12.2	6,500	10.7	66.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮し算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	113,184,548株	25年3月期	113,184,548株
26年3月期2Q	15,945,222株	25年3月期	15,944,506株
26年3月期2Q	97,239,635株	25年3月期2Q	97,818,060株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 平成25年10月1日付にて、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権の財政政策や日銀の金融緩和などにより円安・株高へ転じ、それに加え経済政策への期待感もあって、全体として景気回復に明るい兆しが現れております。一方で、円安による輸入品価格の上昇や雇用者所得の低迷など取り巻く経営環境は引き続き厳しいものがあります。

このような環境下におきまして、当社グループはポートフォリオ経営を強化するとともに、顧客ニーズに合った商品展開などにより、稼動顧客数の拡大を図って参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は60,432百万円（前年同期比11.4%増）となりました。営業利益は不動産の売却益などもあって2,526百万円（同16.2%増）となりました。また、それに伴い経常利益も3,131百万円（同23.5%増）となり、四半期純利益は1,962百万円（同7.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較について、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### 〔総合通販事業〕

「家庭用品」は低迷したものの、「衣料品」が順調だったことにより、売上高は36,532百万円（同3.0%増）となりました。一方で、セグメント損益は物流関連費の増加などにより160百万円の損失（前年同期は89百万円の損失）となりました。

#### 〔専門通販事業〕

化粧品、看護師向け事業が順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は11,236百万円（同4.5%増）となりました。一方で、セグメント損益はグルメ事業が苦戦したことにより160百万円の利益（同73.2%減）となりました。

#### 〔店舗販売事業〕

アパレル店舗事業に加えて、和装の店舗展開を行っている(株)BANKANと(株)わものやが順調に売上を伸ばしたことにより、売上高は3,005百万円（同28.4%増）となりました。一方で、セグメント損益は出店コストもあり、114百万円の利益（同32.1%減）となりました。

#### 〔ソリューション事業〕

封入・同送サービスと通販代行サービスが順調に推移したことにより、売上高は2,291百万円（同15.5%増）、セグメント損益は937百万円の利益（同14.0%増）となりました。

#### 〔ファイナンス事業〕

不動産担保金融事業で営業貸付金残高は減少しましたが、国内消費者金融事業と韓国消費者金融事業で営業貸付金残高が伸びたことにより、売上高は1,748百万円（同23.3%増）となりました。それに伴いセグメント損益は326百万円の利益（同37.7%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

販売用不動産の売却により、大幅な増収増益となり、売上高は4,464百万円（同318.7%増）、セグメント損益は1,222百万円の利益（同239.9%増）となりました。

〔その他の事業〕

アパレル卸事業を展開しているフレンドリー(株)で売上が減少したことにより、売上高は1,381百万円（同2.1%減）、セグメント損益は96百万円の損失（前年同期は15百万円の利益）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比258百万円増加し、65,349百万円となりました。これは主に販売用不動産が2,282百万円、受取手形及び売掛金が828百万円減少した一方で、商品及び製品が3,415百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比9,419百万円増加し、59,407百万円となりました。これは主にのれんが4,104百万円、投資有価証券が1,345百万円、繰延税金資産が1,256百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比9,678百万円増加し、124,757百万円となりました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比486百万円減少し、38,237百万円となりました。これは主に短期借入金が3,011百万円増加した一方で、未払法人税等が1,844百万円、その他が1,286百万円、支払手形及び買掛金が362百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比8,442百万円増加し、18,185百万円となりました。これは主に長期借入金が8,232百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比7,956百万円増加し、56,423百万円となりました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比1,721百万円増加し、68,334百万円となりました。この結果、自己資本比率は54.8%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、804百万円減少し、12,529百万円となりました。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、843百万円（前年同期は2,450百万円の増加）となりました。主たる増加要因は、税金等調整前四半期純利益3,087百万円、販売用不動産の減少2,282百万円、減価償却費1,202百万円などです。一方で、たな卸資産の増加3,244百万円、法人税等の支払額2,678百万円などが主な減少要因であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、12,304百万円（前年同期は1,529百万円の減少）となりました。主たる減少要因は、子会社株式取得による支出5,506百万円、有形固定資産取得による支出4,637百万円、投資有価証券取得による支出2,310百万円などです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、10,633百万円（前年同期は1,428百万円の減少）となりました。主たる増加要因は、長期借入金の借入収入15,000百万円です。一方で、長期借入金の返済支出5,656百万円などが主な減少要因であります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日の公表から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した(株)グレースと(株)ビッグベルジャパンを連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間より、新たに設立した(株)スタジオ・エンジェルと株式を取得した(株)アンファミエを連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,833	14,470
受取手形及び売掛金	11,444	10,616
営業貸付金	16,457	18,097
有価証券	916	526
商品及び製品	12,754	16,169
原材料及び貯蔵品	962	794
販売用不動産	3,831	1,548
仕掛販売用不動産	84	84
繰延税金資産	986	847
その他	4,157	3,592
貸倒引当金	△1,337	△1,397
流動資産合計	65,091	65,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,192	13,077
機械装置及び運搬具（純額）	191	633
工具、器具及び備品（純額）	319	351
土地	19,646	20,562
リース資産（純額）	151	135
建設仮勘定	2,729	3,367
有形固定資産合計	35,230	38,128
無形固定資産		
のれん	98	4,203
リース資産	1,516	1,436
その他	2,280	2,049
無形固定資産合計	3,896	7,689
投資その他の資産		
投資有価証券	7,099	8,445
長期貸付金	1,642	1,915
破産更生債権等	2,776	2,706
繰延税金資産	141	1,397
その他	1,458	1,407
貸倒引当金	△2,257	△2,283
投資その他の資産合計	10,860	13,589
固定資産合計	49,987	59,407
資産合計	115,079	124,757

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,052	16,690
短期借入金	7,456	10,467
未払費用	6,740	6,758
リース債務	416	396
未払法人税等	2,650	806
賞与引当金	558	534
返品調整引当金	82	82
ポイント引当金	556	578
その他	3,208	1,921
流動負債合計	38,723	38,237
固定負債		
長期借入金	5,783	14,015
利息返還損失引当金	1,149	1,179
リース債務	928	942
退職給付引当金	247	233
役員退職慰労引当金	227	232
資産除去債務	463	468
その他	943	1,115
固定負債合計	9,743	18,185
負債合計	48,466	56,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,607	10,607
資本剰余金	11,003	11,003
利益剰余金	54,900	56,497
自己株式	△9,675	△9,675
株主資本合計	66,835	68,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	676	658
為替換算調整勘定	△899	△756
その他の包括利益累計額合計	△222	△97
少数株主持分	0	0
純資産合計	66,612	68,334
負債純資産合計	115,079	124,757



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	54,242	60,432
売上原価	23,743	27,329
売上総利益	30,499	33,103
返品調整引当金繰延差額	16	0
差引売上総利益	30,483	33,102
販売費及び一般管理費	28,309	30,576
営業利益	2,173	2,526
営業外収益		
固定資産税還付金	150	5
為替差益	—	369
その他	417	633
営業外収益合計	567	1,008
営業外費用		
支払利息	70	65
デリバティブ評価損	73	—
投資事業組合運用損	8	163
その他	52	174
営業外費用合計	205	403
経常利益	2,535	3,131
特別損失		
投資有価証券売却損	4	—
投資有価証券評価損	54	43
特別損失合計	58	43
税金等調整前四半期純利益	2,477	3,087
法人税、住民税及び事業税	544	812
法人税等調整額	104	312
法人税等合計	649	1,125
少数株主損益調整前四半期純利益	1,828	1,962
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	1,828	1,962

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,828	1,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△18
為替換算調整勘定	△28	142
その他の包括利益合計	△41	124
四半期包括利益	1,787	2,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,787	2,086
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,477	3,087
減価償却費	1,082	1,202
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	16	0
のれん償却額	65	100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△467	47
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65	△24
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△20	△14
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	4
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△32	9
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△221	30
受取利息及び受取配当金	△110	△219
支払利息	70	65
デリバティブ評価損益 (△は益)	73	△74
投資有価証券売却損益 (△は益)	4	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	54	43
売上債権の増減額 (△は増加)	219	836
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△224	△1,264
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,529	△3,244
販売用不動産の増減額 (△は増加)	520	2,282
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	162	639
仕入債務の増減額 (△は減少)	740	△136
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,580	△128
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△24	38
その他	△118	64
小計	3,387	3,345
利息及び配当金の受取額	97	209
利息の支払額	△69	△65
法人税等の還付額	26	33
法人税等の支払額	△992	△2,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,450	843

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,499	△1,945
定期預金の払戻による収入	837	1,536
有価証券の取得による支出	—	△194
有価証券の売却による収入	1,965	844
有形固定資産の取得による支出	△664	△4,637
有形固定資産の売却による収入	7	—
無形固定資産の取得による支出	△157	△182
投資有価証券の取得による支出	△2,289	△2,310
投資有価証券の売却による収入	33	348
子会社株式の取得による支出	—	△5,506
貸付けによる支出	—	△349
貸付金の回収による収入	247	41
差入保証金の差入による支出	△19	△57
差入保証金の回収による収入	2	112
その他の支出	—	△11
その他の収入	7	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,529	△12,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200	1,900
長期借入れによる収入	500	15,000
長期借入金の返済による支出	△1,250	△5,656
自己株式の取得支出	△182	△0
配当金の支払額	△367	△364
リース債務の返済による支出	△328	△245
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,428	10,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△510	△804
現金及び現金同等物の期首残高	11,529	13,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,018	12,529

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## Ⅰ 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナ ンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,407	10,746	2,341	1,866	1,418	1,066	1,395	—	54,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	55	1	—	116	—	—	15	△189	—
計	35,462	10,748	2,341	1,982	1,418	1,066	1,410	△189	54,242
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	△89	600	169	822	237	359	15	59	2,173

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳124百万円とのれん償却費△65百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナ ンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	36,495	11,235	3,005	2,115	1,748	4,464	1,367	—	60,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	0	—	175	—	—	13	△227	—
計	36,532	11,236	3,005	2,291	1,748	4,464	1,381	△227	60,432
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	△160	160	114	937	326	1,222	△96	22	2,526

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳123百万円とのれん償却費△100百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第二次短期経営計画が今期からスタートすることに伴い、各事業における経営管理体制の明確化及び強化を図るために、以下のとおり、報告セグメントを変更しております。

### <旧セグメント>

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 総合通販事業    | 衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売及び関連事業                     |
| (2) 専門通販事業    | 食料品・化粧品・健康食品等の単品販売や、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業 |
| (3) ソリューション事業 | 受託業務事業(封入・同送サービス事業を含む)                          |
| (4) ファイナンス事業  | 消費者金融事業並びに担保金融事業                                |
| (5) プロパティ事業   | 不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業、ゴルフ場運営事業等                    |
| (6) その他の事業    | 和装関連商品の販売事業、卸売事業等                               |

### <新セグメント>

- |               |   |
|---------------|---|
| (1) 総合通販事業    | 衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売及び関連事業                     |
| (2) 専門通販事業    | 食料品・化粧品・健康食品等の単品販売や、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業 |
| (3) 店舗販売事業    | 衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業                              |
| (4) ソリューション事業 | 受託業務事業(封入・同送サービス事業を含む)                          |
| (5) ファイナンス事業  | 消費者金融事業並びに担保金融事業                                |
| (6) プロパティ事業   | 不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業                              |
| (7) その他の事業    | 卸売事業、ゴルフ場運営事業等                                  |

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントで記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当社は、平成25年8月30日付で(株)アンファミエの株式を取得したことにより、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、「専門通販事業」セグメント4,205百万円であります。